

BEPPU

HOSPITAL

2024年10月
発行



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

CHIKUSHI

OHASHI

ITO

総合知で
社会変革を牽引する大学へ

KYUSHU UNIVERSITY

OVERVIEW
- 2024 -



九州大学

九州大学 広報課

〒819-0395 福岡市西区元岡744

Tel 092-802-2130

E-mail koho@jimu.kyushu-u.ac.jp

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/>



Welcome to KYUSHU UNIVERSITY

九州大学は、東京、京都、東北帝国大学に次ぐ4番目の帝国大学として1911年に創立されました。主に4つのキャンパスがあり、現在約19,000人の学生と約8,000人の教職員が在籍し、12学部、19学府、国内最大級の大学病院や附属図書館などを保有しています。

基本理念に「自律的に改革を続け、教育の質を国際的に保証するとともに常に未来の課題に挑戦する活力に満ちた最高水準の研究教育拠点となる」を掲げ、多様な「知」と「人材」を結集して、新たな価値創造の基盤となる研究とイノベーションの創出を牽引し、自然科学系と人文社会科学系、さらにはデザインを加えた知による「総合知」によって、社会的課題の解決とそれによる社会・経済システムの変革に貢献する「総合知で社会変革を牽引する大学」となることを目指しています。

Greetings

総合知で社会変革を牽引する大学を目指して

九州大学は2021年11月、世界最高水準の研究教育活動の展開が見込まれる国立大学法人として文部科学大臣から「指定国立大学法人」に指定されました。これを機に、2030年に向けたビジョンである「KYUSHU UNIVERSITY VISION 2030」を策定、「総合知」によって、社会の課題を解決し、社会変革に貢献する活動に取り組んでいます。

本学は、1911年の創設以来、創造性と多様性を尊重し、自由闊達な学風に基づく知の探求を推進してきました。また、さまざまな形態による入学者選抜の実施や、本学独自の奨学制度の設置など、多様な学生を受け入れるための環境も整っています。

多くの学生や研究者にとって魅力のある世界最高水準の教育、研究を展開し、国際競争力をもつ世界の大学に伍していくために、歴史と伝統に培われた本学の「知」を基盤に、一丸となって総合知で社会変革を牽引する大学を目指してまいります。



九州大学 総長

石橋達朗

Tatsuro Ishibashi

CONTENTS

| | |
|--------------------------|-------|
| Introduction / Greetings | 1-2 |
| Campus overview | 3-4 |
| Research | 5-8 |
| Education | 9-10 |
| At a glance | 11-12 |
| School life | 13-14 |

Campus overview

◆ それぞれユニークな特徴を持つ4つのキャンパス

九州大学は、アジアの玄関口として注目されている福岡市*に位置しています。主に4つのキャンパスがあり、総合科学の中核・実証実験拠点としての伊都キャンパス、生命医療科学拠点としての病院キャンパス、先端科学融合拠点としての筑紫キャンパス、先端デザイン拠点としての大橋キャンパスが、それぞれ特色ある研究や教育を展開しています。 ※一部の施設などを除く



Location of each campus

◆ 伊都 キャンパス

“総合科学”の中核・実証実験拠点



2005年に移転を開始し、10年を超える歳月をかけ、2018年に完成しました。現在、学生教職員数約18,000名の本学最大のキャンパスです。水素エネルギーや燃料電池等の研究開発等の近未来の社会モデル提供や、自然環境との共生などを図る、世界でも類をみない「総合研究の拠点」となるキャンパスです。



[伊都キャンパス]
〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744

◆ 病院 キャンパス

“生命医療科学”の拠点



医学系、九州大学病院などを擁し、将来の医療を担う医療人の育成と、高度先進医療の開発・提供を行う教育・研究・診療拠点です。なお、九州大学病院は1995年から、厚生労働省から特定機能病院*の承認を受けています。

また、大分県別府市には分院の九州大学病院別府病院があります。

※一般の医療機関では実施が困難な高度な医療の提供、高度な医療技術の開発と高度な医療に関する研修を実施する能力などを備えた医療機関として、厚生労働省が承認した病院



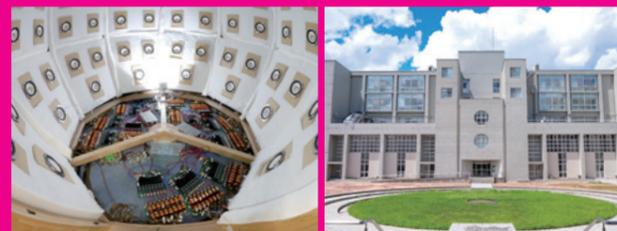
[病院キャンパス]
〒812-8582 福岡県福岡市東区馬出3-1-1

◆ 大橋 キャンパス

“先端デザイン”の拠点



2003年に九州芸術工科大学との統合により誕生し、芸術と科学技術を統合したデザインの教育・研究拠点です。芸術工学部は1学科5コース、大学院は1専攻6コースを配置して、次世代デザイナーを育成します。



[大橋キャンパス]
〒815-8540 福岡県福岡市南区塩原4-9-1

◆ 筑紫 キャンパス

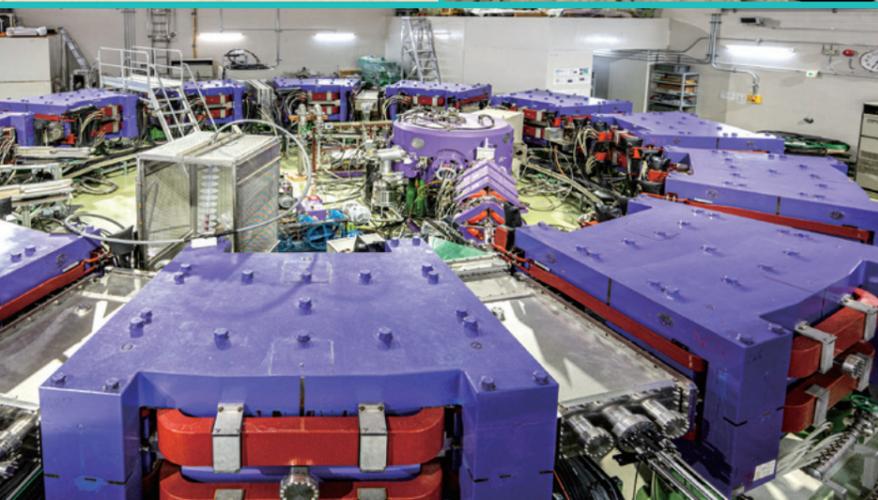
“先端科学”の融合拠点



先端研究を担うさまざまな研究施設を擁し、物質、環境とエネルギーの共生型社会の実現を目指す教育・研究拠点です。学部を持たない独立大学院として設立された大学院総合理工学府などを有しています。



[筑紫キャンパス]
〒816-8580 福岡県春日市春日公園6-1



九州大学では、約2,400人の研究者が自由闊達な研究を行っています。

人文社会科学系、自然科学系、そしてデザイン系と、

幅広い分野に属する研究者たちが、個々の学問領域の垣根を越えて協働できる研究環境があるのが九州大学の強みです。

社会的課題解決に向けた取組を推進する司令塔である、「未来社会デザイン統括本部」※を中心に、理想とする未来社会をデザインし、バックキャストによる課題解決に取り組んでいます。



※未来社会デザイン統括本部

九州大学の強み・特色を生かしたエントリポイント

幅広い研究分野の中でも、特に、本学の強み・特色を生かし、社会的課題の中で先導して取り組むべきエントリポイントとして、「脱炭素」「医療・健康」「環境・食料」の3つを設定しています。この3つの課題解決の取組を福岡・九州を舞台に始め、同様の課題を有する日本、アジア、そして世界の地域へと展開すべく邁進しています。

特に、「脱炭素」では、世界トップレベルの研究拠点であるカーボンニュートラル・エネルギー国際研究所(I²CNER:アイスナー)を擁しています。

[エントリポイント]



[脱炭素]

- 水素による省エネ
- CO₂回収・変換
- 新たな都市モデルの提案
- 未来エネルギー社会の再構築
- 地域連携の推進



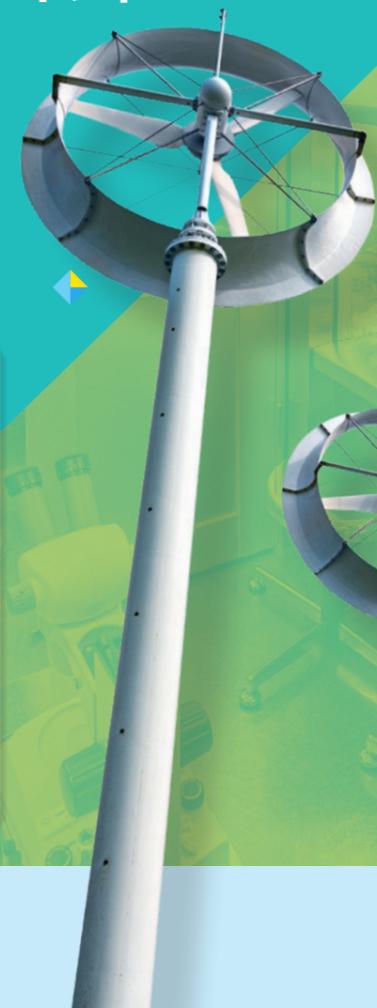
[医療・健康]

- トランスオミクス解析
- 遠隔医療システム
- プレシジョンメディシン
- 未来医療の提案
- DXによる支援



[環境・食料]

- マイクロプラスチック循環予測
- 気候強制因子に関する提言
- 生物材料の知財戦略
- スマート農業
- 昆虫資源



[レンズ風車]

低炭素社会の実現とエネルギーの安定供給のための新たな次世代エネルギーの切り札として国内外から注目されている。

Research

研 究

脱炭素 Decarbonization



カーボンニュートラル社会の実現に挑む

カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所では、研究の一つの柱としてCO₂をより効率的に回収する技術、そして回収したCO₂を有用物質に変換する、Carbon Capture and Utilization(CCU)に関する研究を進めています。藤川茂紀教授(アイスナー)は、ムーンショットプロジェクト*のプロジェクトマネージャーとして、大気からのCO₂回収から炭素燃料変換までを一貫して行う「Direct Air Capture and Utilization (DAC-U)システ

※重要な社会課題に対し、人々を魅了する野心的な目標(ムーンショット目標)を国が設定し、挑戦的な研究開発を推進するもの

ム)の創製に取り組んでいます。開発した世界最高性能のCO₂透過性を持つナノ分離膜で、CO₂を回収、新たな炭素循環に再利用する研究を進めています。

同じく、アイスナーのアンドリュー・チャップマン准教授は、低炭素エネルギー移行に係る社会公平性の定量評価を研究しています。エネルギー政策実施等がもたらす経済、環境、社会指標への影響に着眼点を置き、評価基準や持続可能性という観点から、脱炭素社会を目指しています。



燃やさないエネルギーで世界を変える

佐々木一成主幹教授(工学研究院)は、低炭素社会実現へのキーテクノロジーとして期待されている水素エネルギー技術の開

発に取り組んでいます。伊都キャンパスでは、水素エネルギー分野の高度人材育成や、基礎基盤研究から産学連携研究が一体的に実施されており、政府関係者や国外からも多く視察にこられます。



九州の高度医療の中核として

九州大学病院は西日本における高度医療の中核拠点として、「臨床研究中核病院」や「がんゲノム医療中核拠点病院」といった多くの高次機能を活用し、最先端医療を安心して受けられる環境を整備しています。



遠隔医療やその他の地域医療におけるイノベーション



九州大学病院では、ICTを活用した教育・診療の両面からのグローバルヘルスにも貢献。地域の医療ニーズに合わせたオーダーメイドの遠隔医療を展開、Digital Transformation(DX)の推進により世界中の医療格差を解消することを目指しています。

工藤梨子講師(九州大学病院)は、国際間の遠隔医療教育研究に従事。医療とデザインを融合した創造的教育プログラムの国際展開に取り組んでいます。例えば、発展途上国における妊婦検診の低受診率を解決する方法を、デザインの分野からアプローチ。医療とデザインの両学部を持つ限られた総合大学である本学の強みを発揮しています。

医療技術と工学技術の融合

工学分野の技術を、医療に応用する研究も進めています。痛くない注射針を開発した山西陽子教授(工学研究院)は、身体が持つ免疫能力を拡張する細胞内サイバネティック・アバター(細胞内CA)を開発するムーンショットプロジェクトを、プロジェクトマネージャーとして推進。医師・専門家が複数体の細胞内CAを遠隔操作することによって、体内をパトロールし、疾患の原因となる細胞の悪性状態を検査して、必要に応じて除去し、体をいつも良い状態に保つことができるようになります。2050年までに細胞内CAに見守られ

て、安全・安心な日常生活と健康寿命の延伸の実現を目指しています。

新たな感染症などに対応する技術開発

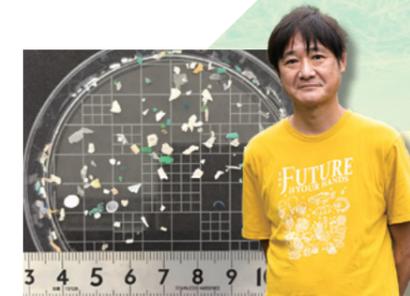
日本でもトップクラスの昆虫研究者がいる九州大学では、昆虫研究を医療に応用する研究も進めています。九州大学では、100年もの間、研究のためのカイコ系統の維持管理が続いてきました。日下部宜宏教授(農学研究院)を中心に、蚕を使って、ワクチンの候補となるタンパク質を開発し、次世代ワクチンの開発に取り組んでいます。



海洋ゴミ問題解決への挑戦

海洋プラスチック研究センターでは、磯辺篤彦主幹教授(応用力学研究所)を中心に、世界の海洋プラスチック汚染研究に取り組んでいます。世界で初めて開発した、全球海洋におけるプラスチックごみやマイクロプラスチックの浮遊量/漂着量の予測モデルにより、2050年までに追加的な海洋プラスチック汚染ゼロ(G20大阪ブルー・オーシャン・ビジョン)を達成する数値目標(流出量

の32%減)を提案。減プラスチックを協議する政府間国際交渉委員会(INC)に臨む日本政府に理論的根拠を提供しています。



日本最大級の学内農場を活用した次世代農業の提案

伊都キャンパスにある附属農場は、国最大規模のオンキャンパス農場。広大な農場を活かして多彩な研究に取り組んでいます。石橋勇志教授(農学研究院)を中心に、「低農業・低肥料で高収量・高付加価値の食料生産」を実現するための次世代農業技術の開発・事業化にも取り組んでいます。食料に関する生産力向上と環境持続性の両立を実現し、世界の食料問題解決に貢献することを目指します。



秀逸な研究者を獲得・育成するための人材戦略

優秀な若手研究者の育成にも力を入れています。部局を越えて高度な研究を推進する高等研究院においては、優秀な若手人材に独立した研究環境を与え、独創的・意欲的な研究を実施してもらう「稲盛フロンティアプログラム」を創設、トップレベル研究者の育成を推進しています。

また、優れた研究業績を有する本学女性ならびに若手教員に世界トップレベルの研究教育力を徹底して実践的に身につける2年間の国際研修を実施し、世界と伍して戦える真に実力のあるダイバーシティ・スーパ

ーグローバル教員として育成する「ダイバーシティ・スーパーグローバル教員育成研修(SENTAN-Q)」を実施しています。

SENTAN-Q



稲盛フロンティアプログラム



本学の初代総長、山川健次郎先生は、「己が専門の学問の蘊奥(うんのう)を極め、合わせて他の凡てのことに一応の知識を有して居らんで、即ち修養が広くなければ完全な士と云うべからず」と説いています。本学はこの言葉を大切に、総合知を生み出す教育を進めています。

Education

教 育

未来のリーダーを育てる九州大学の教育

九州大学では、グローバルに活躍できる価値創造人材育成の実現に向け、高大接続から学士・修士・博士課程までを見据えた教育の一体的な改革を推進しています。



優秀な人材育成に向けた九州大学独自の高校生への取組

高大接続においては、女子高校生対象の理系インターンシップ制度である「QURIESプログラム」、将来グローバルに活躍しうる次世代の傑出した科学技術人材を育成する「未来創成科学者育成プロジェクト(QFC-SP)」などのプログラムで、その強化を図っています。



学士課程での取組

学部教育段階では、課題発掘・課題解決・価値創造の視点や発想を学ぶ教育を重視しています。一年次に学ぶ「基幹教育」では、文理を問わず、異なる専攻の学生たちが一緒に対話型の協働学習をしながら、論理的思考力を養い、知識そのものを新たな視点から創造的・批判的に「知識の再生産」を試みる取組、「総合知」を生み出す試みを進めています。

2018年4月に共創学部を設置し、多様な人々との協働から異なる観点や学問的な知見の融合を図り、共に構想し、連携して

人材育成の取組

高大接続の強化

- I. ▶ 「未来創成科学者育成プロジェクト(QFC-SP)」(2014年～)
- ▶ 女子高校生対象の理系インターンシップ制度「QURIESプログラム」(2021年～)



未来創成科学者育成プロジェクト



QURIESプログラム

学部から博士修了までのシームレスなコースの設置

- II. • 専攻教育、大学院科目の先取り履修の推奨
- 成績優秀者の早期卒業・修了の奨励 など
- ▶ K-SPRING「九州大学未来創造コース」(2021年10月～)
- ▶ 「人文情報連係学府」(2025年4月～)



九州大学未来創造コース



人文情報連係学府

博士キャリアパス支援

- III. ▶ 多様な就職先の開拓・マッチング支援
- ▶ 「マス・フォア・イノベーション卓越大学院」(2020年4月～2023年度 日本学術振興会による中間評価結果「S」)



マス・フォア・イノベーション卓越大学院

修了後のフォローアップ

- IV. • ポスドク等としての学びの継続(副専攻、留学など)
- 特定のプログラムを修了した者への「デジタル学修証明(オープンバッジ)」の発行

新たなものを創造する「共創」をコンセプトとして、絶えず変化するグローバル社会において新たなイノベーションの創出を担う人材の育成に取り組んでいます。

修士・博士課程における取組

このような文理融合教育の取組は、大学院においても取り組んでいます。融合型学位プログラムのフラッグシップモデル「マス・



GPMI

フォア・イノベーション卓越大学院プログラム(GPMI)では、数理学府、システム情報科学府、経済学府を中心に、学内のさまざまな分野の教員の協力のもと、数学をベースとしつつも、異分野連携を進めてイノベーションを創発してゆく数学博士人材のための教育カリキュラムを展開。また、2025年4月には「人文情報連係学府(仮称)」の設置を予定しており、「人文的視点」とデータ分析・人工知能等の情報学を活用できる能力の双方を備えた分野横断的な高度専門人材の育成を目指します。

博士課程等への進学意欲のある学生への支援

優秀で意欲ある学生の博士課程等への進学を促進するために、「次世代研究者挑戦的研究プログラム」(SPRING)を2021年度から

開始。2024年度より「九州大学 未来を拓く博士人材育成プログラム(K2-SPRING)」として継続的に展開。我が国の科学技術・イノベーションの創造に直接携わる意思、能力を有する優秀な学生に対し、既存の枠組みにとらわれない自由で挑戦的・融合的な研究に専念するための経済支援を行うとともに、多様なキャリアパスで活躍できる博士人材へと導く取組を進めています。



SPRING

At a glance

見る九州大学

数字で見る九州大学

学生数



教職員数



学部数



学府数



キャンパス総面積

校地面積は国内3位の広さ



研究院数



受託研究受入額



蔵書数



病床数



九州大学の海外交流を見る



留学生数



国際交流協定数



●1903 京都帝国大学福岡医科大学創立

1911

九州帝国大学創立
(工科大学・医科大学から成る)

※東京、京都、東北帝国大学に次ぐ第4番目の帝国大学として創立

●1919 医学部、工学部に改称
農学部設置

●1924 法文学部設置

●1939 理学部設置

●1947 九州大学に改称

1949

法学部、経済学部、文学部設置

新制九州大学発足

教育学部設置

●1961 創立五十周年

●1964 薬学部設置

●1967 歯学部設置

●1968 九州芸術工科大学創立

●2000 学府・研究院制度創設

●2003 九州芸術工科大学と統合

●2004 国立大学法人化

2005

伊都キャンパス開校

●2011 創立百周年

●2012 創立百周年記念式典挙行

●2018 共創学部設置
伊都キャンパス完成への統合移転完了

2021

指定国立大学法人に指定

School life



◆ もっと知りたい 九州大学

[刊行物]



九州大学公式の広報誌「九大広報」や、沿革・組織・在籍学生数などの資料集「九州大学概要」などが閲覧できます。年度ごとに更新しているものも多く、最新情報を知るにはピッタリのページです。

アクセス!



[Kyushu University VISION2030]



「Kyushu University VISION 2030」は、九州大学が目指す「総合知で社会変革を牽引する大学」を実現するために策定したビジョンです。このビジョンに基づく新しい取組を、本学一丸となって進めてまいります。

アクセス!



[受験生の方へ]



入試情報だけでなく、入学科・授業料・奨学金といった保護者の皆さまが気になる情報も掲載しています。

アクセス!



九州大学基金



九州大学基金では、皆さまのご支援により、研究支援・学生支援・施設整備など多くの事業を実施しています。ご寄附頂いた日本国内居住の方は税制上の優遇措置があります(確定申告が必要です)。詳しくは、九州大学基金のホームページをご覧ください。皆さまからのご協力を心よりお願い申し上げます。

アクセス!

